

「ワークーション」 今後を見据え、新たに取り組む

現在、全国各地で注目を集める新たな旅のスタイル「ワークーション」という言葉はご存じでしょうか。

ワークーションとは、仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語で、リモートワークなどによる新しい仕事のスタイルが広がる中、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うことを言います。

企業側や従業員へのメリットはもちろん、受け入れ側となる地域にも交流・関係人口の増加といったメリットがあると言われています。



詳細は観光庁HP

*勝山市おもてなし宿泊施設活性化促進事業

今後、観光推進が期待される勝山市（下記参照）でも、「ワークーション」に取り組む動きが見られます。今月の特集では、市の支援（*）を受けながらワークーションに取り組む宿泊施設「横倉鉱泉」と「あまごの宿」にご協力をいただきながら、ワークーションの今後の可能性について探ります。

横倉鉱泉では、「暮すように旅する」をコンセプトに、リモートワークをしながら、観光施設はもとより勝山の歴史や人々の暮らしに直接触れて体験する旅の滞在拠点として、ワーキング&ミーティングルームの整備のほか、「七里壁」のような街なかの小さな露地まで楽しく散策できる電動キックボードを配備しています。



新設したワーキング&ミーティングルーム

また、新設したサービスルームには、朝市などで購入した食材で自炊も可能なキッチンが、冬は、雪国の暮らしならではの「お



キッチンを備えたサービスルームを新設

もてなし」の一つとして、薪ストーブを導入するなど、勝山での長期滞在を満喫していただくためのサービスを提供しています。



客室に整備したワークスペース

あまごの宿では、都会の職場にはない山々に囲まれた自然豊かな立地を活かし、四季折々の風景で疲れを癒したり、周辺で登山や釣り、サイクリング、冬は雪などを楽しめる拠点として、ワークスペースを整備したほか、長期滞在を快適に過ごしていただくために洗面室をリニューアルしました。



洗面室をリニューアル

また、繁忙期以外での集客も期待されるワークーションを積極的に進めるために、自慢のあまご料理によるおもてなしの強化はもちろん、ブログやSNSなどを活用したPRにも積極的に取り組んでいます。

コロナ禍だからこそ 前向きにチャレンジ

コロナ禍で今までのような経営ができなくなる中、仕事をしながら長期滞在を楽しむワークーションを知り、思い切って取り組むことにしました。勝山の自然や観光、他にはない料理で勝山の魅力を全国の方に知ってもらいたいです。



あまごの宿 代表 北川 雅敏さん

ワークスペースの整備に加え、勝山での長期滞在を楽しく快適に過ごすしていただくための様々な工夫を凝らした両施設の取り組み。そこから、これまで以上に、より多くの方が、勝山に訪れ、滞在を楽しむことが期待されます。

期待膨らむ観光推進（今後の主な予定）

勝山市内およびその周辺では、恐竜王国福井県の唯一無二の目的地を目指した整備や高速交通体系の整備などが予定されており、今後の観光推進に大きな期待が寄せられています。



提供：鉄道・運輸機構

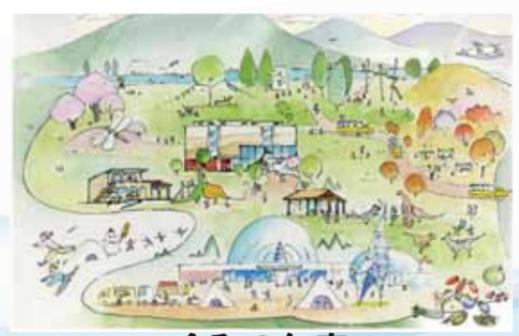
令和6年春 北陸新幹線福井駅・敦賀駅開業

金沢駅から敦賀駅まで開通予定
(県内停車駅：芦原温泉・福井・越前たけふ・敦賀)



令和8年春 中部縦貫自動車道県内全線開通

大野ICから和泉IC（仮称）の間が令和4年度、和泉IC（仮称）から油坂出入口（仮称）の間が令和8年春に開通予定



令和6年春 かつやま恐竜の森（長尾山総合公園） 再整備・管理運営

全国展開する「星野リゾート」の完全子会社を中心とした企業グループによる長尾山総合公園の恐竜リゾート化などを展開予定
※施設の供用開始は令和7年春の予定



令和5年夏 福井県立恐竜博物館リニューアル

「オールシーズン体験可能な博物館にフルモデルチェンジ」をコンセプトに恐竜博物館の機能強化を実施
大型映像を備えた特別展示室や1年通して恐竜研究体験が可能なスペースなどを整備予定



令和4年 恐竜溪谷かつやまエリア強化

道の駅の機能を補完する飲食や宿泊ができる施設を誘致予定